

はばたけ新成人

二十歳の決意

1月4日(月)、日高町中央公民館において、平成28年日高町成人式を執り行いました。

式典には、新成人92人のうち64人(男子35人、女子29人)が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

松本町長が式辞で「みなさんは二十歳を迎えますと、成人としての権利と自由が認められ、それと同時に、自分自身において考え、行動することが要求され、大きな責任や義務も重いものとなってまいります。その自覚をしっかりと持って頑張っていたきたいと思います。激動進展する時代に立つみなさんは、大いなる夢と、何事にも果敢に挑戦する勇氣、そして夢の実現に向かって失敗を恐れず、一度しかない人生を心豊かに歩んでいただくことを念願しております」と激励。来賓の方々からまたくさんのお祝いの言葉が贈られました。

新成人を代表して、青貝里実さんに記念品が贈呈され、鈴木健斗さんが謝辞で「みなさまからいただいた、意義深い教訓を胸に刻み、社会という大海に胸を張って船出していきたいと思えます。本日の感激を胸に、等しく成人としての、自覚を新たにし、大人社会の一員として、ベストをつくす所存ですので、よろしくお願いたします」と、新成人としての決意を述べました。

ノンアルコールのシャンパンで乾杯したあと、同館前で記念撮影と「門出」の花言葉があるスイートピーの種入りの風船を飛ばして祝いました。



